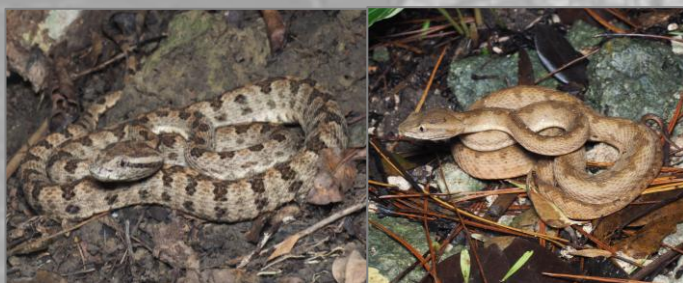


西表島のヘビたち

西表島には10種の陸生ヘビがいる。ここでは今までぼくが見たことのある7種の写真を載せてみた。

今年は、堀井さんのツアーでなんと一晩で4種類ものヘビに出会うことができた。中でもVol.191で紹介した**イワサキセダカヘビ**は“3珍”の1つだし、**サキシマバイカダ**、**サキシマスジ** (Vol.192) も見ることがとても難しいヘビたちで、いずれも**高校の研修で見ていいレベル**ではない。「セダカ見ちゃったら次はやばいですよ」堀井さんにそう言われる。「次」というのは、そう、3珍の残り2種、イワサキワモンベニヘビとヤエヤマタカチホだ。あれだけ探すのに苦労したセダカは**3珍の中では一番見つけやすい方らしい**（まじかよ…）。今年たくさんのヘビを見てしまったせいで、**余計に残りも見たい気持ちが強くなってしまっている**（=沼にハマった）。

思えば、ぼくはもともとヘビは興味の外だった。というか、そこまで本気の生き物探しをした経験がなかったので、そもそもヘビに出会わなかった。**一昨年の西表島研修**でルイがヘビを見たがっていたので、その頃くらいからぼくもヘビを意識するようになった。一昨年は結局1匹も見れなかったし、去年ようやくハブやサキシママダラといったよくいるやつに出会えた。そこから考えると、今年は**急激すぎるステップアップ**である。残すは2珍の他にも、比較的に見やすいと言われているヤエヤマアオヘビも残っている。一生のうちに何種まで見れるかなあ。



サキシマハブ *Protobothrops elegans*

2026年・2025年
クサリヘビ科ハブ属。最大120cmほど。八重山諸島の固有種。沖縄本島のハブよりも小型で毒性は低い。夜行性、地表性でカエルなどを食べる。毒は怖いですが、色彩は変異が大きくとても美しい。マムシとハブの仲間（クサリヘビ科）は頭が三角形なので見たらすぐ分かる。



サキシマバイカダ (幼蛇) *Lycodon multifasciatus* 7月26日
ナミヘビ科オオカミヘビ属。模様から梅花蛇（バイカダ）と呼ぶが、この種は梅の花っぽくない。最大70cm。目が大きくて可愛い。夜行性で樹上性。トカゲを食べる。この種を含めて4珍とする場合もあるそう。堀井さんとセダカを探している時に見つけた。準絶滅危惧種。西表島、石垣島、宮古島などに分布。



サキシママダラ

2025年

Lycodon rufozonatus walli
ナミヘビ科オオカミヘビ属。最大100cmほど。夜行性、地表性でカエルなどを食べる。八重山諸島、宮古諸島に分布。これとサキシマハブの2種は西表島では比較的によく見る。



サキシマスジ

7月26日

Elaphe taeniura schmackeri
ナミヘビ科ナメラ属。最大250cmになる大型のヘビ。ネズミや鳥などを食べる。絶滅危惧II類。八重山諸島、宮古諸島に分布。



ヤエヤマヒバ (幼蛇)

2013年

Hebius ishigakiensis
ナミヘビ科ヒバカリ属。最大95cmほど。水辺でカエルなどを食べる。近縁種は卵生だがヤエヤマヒバはなぜか胎生。西表島、石垣島にのみ生息。日本固有種。



イワサキセダカヘビ (幼蛇) 7月26日

Pareas iwasakii セダカヘビ科
最大70cmほど。八重山3珍ヘビのひとつ。夜行性、樹上性でカタツムリのみを食べる。環境省RDB準絶滅危惧種。西表島、石垣島のみに生息。



ブラーミニメクラヘビ (外来種)

2025年

Indotyphlops braminus
ミミズにしか見えないがよく見ると目も鱗もある。単為生殖でメスだけで増える。原産地不明。

